



そら豆

そら豆は 空に向かって 豆がなります。また 腎臓の形は そら豆に似ています。皆様の 気持ちも 上を向きますように...

発刊:
済生会今治病院
透析センター

代表:
透析センター長
美馬 敦

患者数:
178名 (1/2 現在)



透析の関連動画 作成しました

● 透析治療のお話しの動画(前半・後半)(各30分)

血液透析は、腎臓の機能が低下した際に、血液を体の外に取り出して老廃物や余分な水分を取り除く治療法です。治療方法や生活などについてお話ししています。

● シヤントの自己管理についての動画(15分)

血液透析では、1分間に約200mlもの血液をダイアライザーといわれる膜に送るため、事前の準備として、シヤントと呼ばれる太い血管を手術で作成します。シヤント手術の必要性や、シヤント管理の仕方について解説しています。

● 災害対策マニュアルの動画(30分)

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。いざという時のための対応をお伝えしています。

● 栄養管理の動画(25分)

長期にわたる透析治療を、無理なく継続していただくために制限される水分や、食事に関するお話をしています。

● 腎臓リハビリテーションの動画(19分)

透析中、動かないリスクへの対策のお話しです。

動画で伝えきれない課題

1. 個別の状況への対応不足

動画は一般化された情報提供はできますが、個々の患者様への具体的な状況や疑問にきめ細かく対応することは困難です。

● 個人的な不安 患者様、一人ひとりが抱える病状への不安や、治療への感情的な側面は、動画だけでは解消しづらいです。

● 個別具体的な質問 「私の場合はどうなの?」「この症状が出たらどうすればいい?」といった具体的な質問には、動画で一律に答えることはできません。

● 治療計画の微調整 生活習慣や合併症の有無など、患者さんの状況に合わせて治療計画は柔軟に調整されますが、これを動画で網羅することは不可能です。

2. 五感に訴える情報の限界

透析治療の、痛みや体調の変化などは、実際に体験しないと理解しにくく、感覚的な要素が多く含まれます。動画では視覚と聴覚に限定されるため、伝えきれない部分があります。



スタッフからのお願い

● 【透析バスご利用の患者さまへ】

- バスを利用しない、または再利用したい場合は、事前にバス運転手まで直接ご連絡ください。
- 運転手の携帯番号は契約時にお伝えしています。
- 検査の都合で行き、または帰りの乗車をしない受診や私用などの理由で乗車をしない入退院することになった

バスはほかの患者様との時間都合を合わせて運行しています。ご協力をお願いします。

● 【体調不良時の対応について】

咳が出る・熱が出た・便秘・転んだなどの理由で、透析当日または、非透析日にお薬だけの希望をされたり、電話連絡を頂いても、**透析センターは透析に関する治療を行う部所のため検査ができません。**

透析治療前に各診療科受診を個々でお願いします。



災害訓練を行いました

透析災害訓練は、透析患者様の命を守るために非常に重要です。災害が発生した際に、透析治療を受けられない状況が長期化すると命に関わるため、平时的からの備えが不可欠です。

透析災害訓練の目的と実施

災害訓練は、患者様の安全と安心を目的に実施しています。当院では12月7日（日）に参加希望患者様を交えた災害訓練を実施しました。

- ・ 準備…災害対策マニュアルの 作成、災害動画作成、防災訓練計画
 - ・ 訓練内容…地震発生時の身の安全の確保、緊急離脱、避難誘導
 - ・ 危機意識の向上…訓練への参加で、スタッフや患者様の危機意識の向上を目指す
 - ・ ベッドサイド訓練と患者指導
- 透析治療中に災害が発生した場合、患者様自身で身を守る行動を取ることが求められます。

地震発生時…

握る
かぶる
つかむ

- 揺れが収まるまで針が抜けないように血液回路をしっかり握り、ベッド柵につかまって振り落とされないようにします。
- 落下物から身を守るため、頭から布団をかぶります。

緊急離脱…

透析を中断し避難する
場合に行います。



設備面での災害対策

当院では、災害時にも透析治療を継続できるよう、設備面でも様々な対策を講じています。

耐震対策…

- 透析の機械のキャスターはロックをせずフリーにしておく。
- 透析ベッドのキャスターはロックのみ行い、床に固定しない。
- 透析液供給装置や水処理装置は床にアンカーボルトで固定する。
- 本棚や整理棚など転倒しやすいものは固定具で固定する。



ライフラインの確保…

- 貯水槽を設置し、透析に必要な水を確保する。
- 非常用電源を配備し、停電時も通信や設備の稼働を維持する。



患者様との情報共有と連携

災害時には、患者様、ご家族、透析施設、行政の三者が正確な情報を共有することが非常に重要です。



どこに逃げるのかな？



緊急離脱を行いますね
は～い
こうか？
こうするの？

地域連携とその他

- ・ 安否確認と情報提供…災害発生時に患者様に、連絡が取れるよう連絡先を定期的に確認しています。
- ・ 透析条件カード…患者様の透析条件が記録されたカードを携帯することで、他の透析医療機関や避難所でスムーズに透析を受けられるようにします。このカードは、毎月更新しています。
- ・ 災害拠点病院…近隣で災害が発生し、自施設で透析が困難な患者様の受け入れ（支援透析）に対応できるように準備しています。その場合、当院患者様にもご協力をいただくことになります。
- ・ 患者会での取り組み…各都道府県の腎臓病患者会でも、避難訓練や災害時伝言ダイヤル（112）の利用方法に関する勉強会、防災マニュアルの作成など、透析患者様の防災対策に力を入れています。



自分の身は 自分で守る

知識と力を身につけましょう

愛媛県公式ホームページ…
災害に備えよう
えひめの防災ポータルサイト
活用の推奨